

平成30年度決算特別委員会にて質疑

「より効果的な税金の使われ方に向けて」

神奈川県議会議員 石川ひろのり

○不明瞭な目標設定

県では現在、平成30年パラ大会に向け、県は外国の決算特別委員会が開催されており、その中で以前より不明瞭な目標設定を指摘している「外国人観光客誘致事業」について質疑を行いました。

しかしラグビーW杯が盛り上がる中、外国人の県内宿泊者は伸びていない点を指摘すると「平日の宿泊者が弱い」「宿泊者が東京に流れた」等の理由が報告されました。

と強く指摘しました。そして「オリ・パラ大会に向け、今年度も約2億5千万円の予算を計上し、同じ理由で誘致できなかったでは済まされない。早急に対策を打つべき」と強く要求しました。

○もっと県民生活に密着した事業を

約5億円 ウンドツアー1千本を用

ラグビーW杯、オリ・

意できたと発表しました。

費用対効果は明確にすべきです。私は待機児童や保育士確保、急傾斜地対策等の事業を優先し、税の使い方を根本的に見直すべきと提案しています。ぜひ要望をお寄せ下さい。



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／府生区在住

「は県民理解は得られない」

石川ひろのり

事務所

府生区百合丘1-5-4
米山ビル202

☎044-455-6611

☎044-455-6614

<http://www.hiro-ishikawa.jp>